

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

家庭 科目 保育基礎

教科： 保育基礎

科目： 保育基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第3学年A～E 組（選択）

教科担当者： 梅沢

使用教科書：（ 7実教 保育基礎701 実教出版 ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 保育基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える	ガイダンス 第1章 1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義	子どもの発達状況に合わせ、適切に養護しながら教育的にかかわる営む保育の重要性が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な意義があることに理解する。 ワークシート記入、保育と人間形成に関するレポート、意見共有	○	○	○	4
	・保育者にどのような資質が求められるのか、またそれを身につけるためにどのようにしたらよいかなど、保育者観についての考察を深める。	2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導・指導事項	発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 ワークシート記入、保育者の役割に関するレポート、意見共有	○	○	○	8
	・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。	3節 保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解する 発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。 ワークシート記入、保育者の役割に関するレポート、意見共有	○	○	○	2
	・誕生～乳児期・幼児期の発達の過程を、それぞれの月齢・年齢ごとの発達に沿った子どもの姿を通して理解する。	特集 月齢、年齢別の発育・発達・指導事項	・それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心を持ち、保育に関連づけて考察することができる。 ワークシート記入、DVD視聴後のまとめ、意見共有	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・実際に子どもと触れあう機会や保育の様子の観察などを通じて、子どものものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深める。子どもとかわってみよう（保育実習）※長期休業中など授業時間外	子どもとかわってみよう（保育実習） ※長期休業中など授業時間外	・保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわったり観察することができる。 保育実習の記録のまとめ、成果発表	○	○	○	
	・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。	第4章 1節 子どもの文化の意義と支える場 1 子どもの文化 2 子どもの文化を支える場	子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる。 ワークシート記入、保育者の役割に関するレポート	○	○		10
	・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを、具体的に遊具などを作るなどの活動を通じて理解する。 ・遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるようにする。	2節 子どもの遊びと表現活動 1 遊びと発達 2 遊びと表現活動	・遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ・子どもの発達や特性を踏まえたうえで、子どもの遊具などの作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身に付けている。 ワークシート記入、作品、レポート 意見共有	○	○	○	8
	・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・乳幼児期の栄養や食事（乳汁栄養や離乳食、幼児食など）の特徴を実習を通して理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。	第3章 1節 子どもの生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活	・子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 ・子どもの食生活や衣生活について、子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身に付けている。 ワークシート記入、実習、レポート 意見共有	○	○	○	10
	定期考査						1

3 学 期	・ 基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。	2 節 生活習慣の形成 1 子どもの生活習慣 2 基本的生活習慣 3 社会的生活習慣	・ 子どもが生活習慣を身に付けるための援助の方法について思考を深めている。ワークシート記入、作品、意見共有	○	○	○	6
	・ 子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 ・ 子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。	3 節 健康管理と事故防止 1 子どもの健康管理 2 事故の防止と応急処置	・ 子どもの健康状態を見るときポイントや病気の特徴、予防接種について理解している。 ・ 子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。ワークシート記入、レポート、意見共有	○	○	○	4
	・ 子ども観は国や地域、時代によって変化していることを理解する。 ・ 時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が世界で共有されつつあることを理解する。	第5章 1 節 子ども観 1 子ども観の変遷 2 権利の主体としての子どもへ	・ 子ども観の変遷や、権利の主体として尊重される状況を理解している。ワークシート、レポート	○	○		2
	・ 子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 ・ 子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。	2 節 子どもの福祉 1 児童福祉 2 子どもをとりまく課題と対策 3 子どもが育つ社会環境	・ 児童福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。	○	○	○	6
	・ 子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	3 節 子育て支援 1 子育て支援からパートナーシップへ 2 社会的養護 3 地域の子育て支援	・ 児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。 ・ 子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えている。ワークシート記入、レポート	○	○		4
	定期考査			○	○		1
							合計
							70